

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年10月02日

計画の名称	快適な生活環境の実現（重点計画）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	秋田県													
計画の目標	・人口減少下での下水道事業の効率化を図るため、県と市町村との協働により、流域下水道を核とした生活排水処理の広域化・共同化による施設の統廃合を推進する。 ・秋田県南部の4市2町1組合を対象とした、県南地区広域汚泥資源化事業を進めていく。 ・PPP/PFI手法により、効率的な事業運営を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,054	A	2,054	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2年度	R4年度	R7年度
1	県南地区4市2町で発生する下水汚泥を肥料として再生利用する割合を増加させる。 県南4市2町における下水汚泥発生量に占める肥料利用割合 肥料化した汚泥量（t）／対象地区の汚泥発生量（t）	88%	88%	98%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	秋田県	直接	秋田県	終末処 理場	新設	県南地区広域汚泥資源化 事業	汚泥資源化施設	秋田県県南地区	■	■	■	■	■	2,014	1.32	－
											小計						2,014		
水道・下水道事業	A07-002	下水道	一般	秋田県	直接	秋田県	終末処 理場	新設	県南地区広域汚泥資源化 事業	県南汚泥建設関係（既存施設 撤去）	秋田県県南地区						40	1.32	－
											小計						40		
											合計						2,054		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

秋田県建設部下水道マネジメント推進課でとりまとめを実施

事後評価の実施時期

令和8年度

公表の方法

事業主体のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

【県南地区広域汚泥資源化事業】
県南地区4市2町で発生する下水汚泥を肥料として再生利用が計画どおり進捗した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、県南市町との連携を強め、時代の変化に対応した持続可能な事業運営及び生活環境の改善に貢献する取組を推進していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	県南4市2町における下水汚泥発生量に占める肥料利用割合		
	最 終 目標値	98%	目標値と実績値の差なし
	最 終 実績値	98%	

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

